

第46回
シリーズ探訪・探求

訪りたいまち

山梨県北杜市

自然環境に恵まれた

「山紫水明」のまち

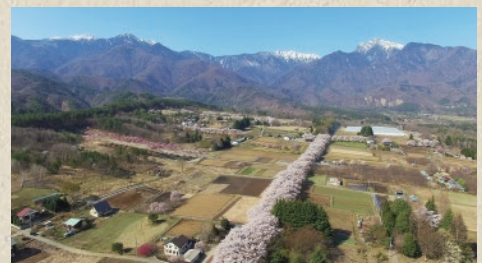
北杜

山梨は古名を「月見里」と呼ばれていたといわれ、月見里の中でも美しい星空を望むことができる地として、北杜市はいつからか「星見里」ともいわれるようになった。雄大な山々や清らかな水、動植物などの自然環境に恵まれ、先人より受け継いだ美しい自然を生かしたまちづくりを進めている。

魅力ある360度の山岳景観

山梨県の北西部に位置し、八ヶ岳、南アルプスなどの美しい山々に囲まれ、県で最も大きな面積の北杜市。古くは旧甲州街道の宿場として栄えた「台ヶ原宿」や樹齢約2千年といわれる「山高神代ザクラ」など歴史に触れられる見どころがまたある。

北杜市の魅力について、市役所産業観光課の仲山直樹さんに伺った。「北杜市の魅力はたくさんありますが、なんといっても北に八ヶ岳、西に甲斐駒ヶ岳から連なる南



北杜市から望む山々



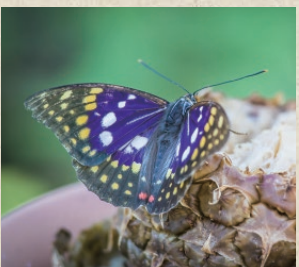
北杜市役所 観光課
仲山 直樹さん

アルプス、東に瑞牆山・茅ヶ岳、南に富士山を望

む360度の山岳景観（山）にあります。八ヶ岳高原大橋など、富士山の眺望スポットも数多くあり、この地では『富士山と八ヶ岳の背くらべ』の話も伝わっています。また、国蝶であるオオムラサキ（紫）の生息数、ミネラルウォーター（水）の生産量、年間2500時間以上の日照時間（明）がいずれも日本一を誇っており、まさに『山紫水明』の地です。

※北杜市の美しい景観は、21ページで紹介しています。

他にも風土を生かして生産される浅尾ダイコン、明野金時などの地場野菜やお米、ブルーベリー、トマト、リンゴなどの農作物、清らかな水を生かした、日本酒、ウイスキー、ワインなどが特



国蝶「オオムラサキ」



北杜市の特産品

産となっており、これらは市内3カ所にある道の駅や観光施設などで購入できる。

広域で連携した観光

首都圏からの国内旅行者を中心に年間約400万人が訪れる北杜市だが、さらなる観光客誘致の取り組みとして特に力を入れていることが、長野県の富士見町、原村と連携した「八ヶ岳観光圏」の形成である。

「観光圏」とは、自然・歴史・文化などにおいて密接な関係のある観光地を一体とした区域であり、区域内の関係者が連携し、地域の幅広い観光資源を活用して、観光客が滞在・周遊できる魅力ある観光地づくりを促進するものである。現在、全国で13の地域が観光庁から認定されている。



一般社団法人
八ヶ岳ツーリズムマネジメント
代表理事 小林 昭治さん

八ヶ岳観光圏の事業推進母体となっている一般社団法人八ヶ岳

ツーリズムマネジメント小林昭治代表理事に伺った。「八ヶ岳観光圏の特徴は、上層部には主峰である赤岳や権現岳など鋭く切り立つ峰々、下層部には東西約31km南北約41kmと広大なスケールの裾野が広がり、『山岳』『高原』『里山』『田園』とそれぞれのエリアが特徴を持つているところにあります。圏域内の約1000mの標高差を車で30分ほどで移動できる『標高1000mの立体空間』のため、花や新緑・紅葉などが織りなす日本の四季を同時に2シーズン味わうことができます。また、過ごしやすく優れた自然環境や景観の中で、青空や星空の魅力を提供できるエリアでもあります。首都圏から約2時間という距離も魅力となっています。」

八ヶ岳観光圏は「1000mの天空リゾート八ヶ岳」澄みきった自分に還る場所」をブランドコンセプトに掲げ、さまざまな取り組みを行っている。

その一つに「標高サイン」の掲示がある。これは、観光施設や地元のお店など2000m以上の至る所にその場所の標高を掲示して、来訪者や地域住民自らが八ヶ岳観光圏のコンセプトである標高1000mの立体空間(標高差)を体感してもらおう試みである。

また、この圏域は1月中旬から2月中旬にかけて特に冷え込みが厳しいため、来

訪者が少なくなる時期である。弱みであるその寒さを強みと捉え、毎年開催されているのが、その日の気温で割引率が変わる「寒いほどお得フェア」である。観測点(北杜市の清里駅前観光案内所)の朝10時の気温に応じて対象商品が、5〜0.1度の際は10%、0〜マイナス4.9度の際は30%、マイナス5度以下の際はなんと50%も割引になる。「圏域内の飲食店など75店舗が参加しており、今や風物詩ともいえるイベントとなっています」(小林代表理事)。

他にも、八ヶ岳の満天の星が織り成す星空をナビゲーターが案内する「スターオーシャン八ヶ岳」など、圏域ならではの魅力を体感できる滞在コンテンツやプログラムの造成も行っており、「対面での間

き取りで実施した来訪者満足度調査の結果、満足度は88.1%、再来訪者の割合(2回以上)も78%と高くなっています。美しい自然環境や景観の中で、青空や星空をぜひ見に来ていただきたいです」と小林代表理事は語る。

世界的な名水の地を目指す

平成26年6月に、人と自然の共存活動に率先して取り組んでいる地域として南アルプスがユネスコエコパークに登録された。この登録を機に、北杜市と水資源の保全活動を積極的に行う企業が互いに手を結び、南アルプス地域を起点に「世界に誇る水の山」としてその価値を世界に広め、市民と共に地域活性化を目指していく、ブランド推進プロジェクト「世界に誇

八ヶ岳観光圏



八ヶ岳観光圏の中でも多くの方が訪れる山梨県立「まきば公園」



圏域内の各所に掲示されている「標高サイン」



「寒いほどお得フェア」はテレビでも紹介された

世界に誇る 「水の山」プロジェクト



清らかな水が流れる尾白川
渓谷の「千ヶ淵」



“世界に誇る「水の山」” PRマスコットキャラクター「ミスクマ」



昨年7月に開催された「水の山未来トーク」の様子

る「水の山」を開始した。

白く美しい山肌の甲斐駒ヶ岳は、マグマが地下で固まりできた花崗岩が100万年以上の時を経て持ち上げられることで誕生し、その砕けた花崗岩の地層が天然のろ過装置となり、ゆっくりとくぐり磨かれた水は適度なミネラルを含んだ清冽な天然の地下水となっている。

市役所観光課の仲山さんは「北杜市には70力所を超える湧水や滝が確認されています。その湧水の多くが地域の歴史と密着し、武田信玄公に由来のある三分一湧水など今もなお飲料水や生活用水、田

畑の農業用水の水源として利用されてお

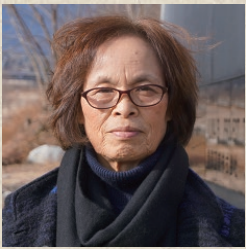
り、地域の方々の保全により守られています。これからも、この地がなぜ水に恵まれ、水をどのように生かし、受け継いでいくのかなどの啓発活動や市民と協働した清掃などの保全活動を積極的にを行い、世界的な名水の地を目指したいと考えています」と語った。

自然と人の共生を考える活動

南アルプスなどの山々に囲まれ水が豊かであるが故に、ひとたび台風や大雨になると河川に多くの水が流れ災害が発生する恐れもある。

昭和34年（1959年）と昭和57年（1982年）に発生した台風により、白州・武川地域は大規模な土砂災害に襲われた。この災害の伝承と防災思想の普及や渓流環境の保全を目的に、NPO法人甲斐駒清流懇話会が活動を行っている。

この会は、地元企業、行政関係者、学識経験者、地元住民が一体となり組織された約60名からなる団体で、昭和34年に発生した土砂災害の復興工事完成を記念して大武川の橋のもとに建立された公園「ゆらみず」を拠点としてさまざまな活動を行っている。



NPO法人甲斐駒清流懇話会
事務局長 遠山 若枝さん

この会では、地元企業、行政関係者、学識経験者、地元住民が一体となり組織された約60名からなる団体で、昭和34年に発生した土砂災害の復興工事完成を記念して大武川の橋のもとに建立された公園「ゆらみず」を拠点としてさまざまな活動を行っている。

遠山若枝事務局長は「平成27年から、

県内外の方を対象として災害意識の大切さを周知する『防災フェア・ゆらみず祭り』を開催しています。また、毎年夏には地元小学校の児童や保護者を招き、地域の自然環境と郷土の文化や災害の歴史と防災について学習する『砂防校外授業』も行っています」と語る。

「砂防校外授業で学んだことが、特に子どもたちには防災上の大切な教訓になります。魚の生態の学習や降雨体験車への試乗、災害体験者の講話など内容が盛りだくさんで、親子そろって貴重な体験ができると思います」（遠山事務局長）。

甲斐駒清流懇話会のもう一つの大きな活動が「甲斐駒清流ウォーク」である。これは、白州・武川地域を流れる大武川・尾白川の河川沿いを中心に、地域の歴史や文化を学びながら実際に歩いて、防災施設の見学と渓流環境を楽しむイベントで、観光名所の紹介やまちの活性化に役立っている。

こういった自然と人の共生の大切さについて普及啓発を図るとも、河川清掃を通じて地域の美化に貢献しているとして、水資源行政の推進にあたって特に顕著な功績のあった個人・団体を国土交

通大臣が表彰する「平成29年度水資源功労者表彰」を授与した。



自然環境や防災などについて学習する「砂防校外授業」



防災施設の見学と渓流環境を楽しむイベント「甲斐駒清流ウォーク」

NPO法人甲斐駒清流懇話会の活動

災害意識の大切さを周知する「防災フェア・ゆらみず祭り」



北杜24景

～大自然の夢風景～

北杜24景は、北杜市の美しい景色を後世に伝えるため、市民の投票によって選定されたものです。
 選りすぐりの景色の中で、あなたはどんな物語を描きますか？



- 1 茅ヶ岳広域農道からの大ロケーション
- 2 太陽の里、ひまわり畑とフラワーセンター
- 3 みずがき山自然公園からの瑞牆山
- 4 増富温泉と深谷美
- 5 津金の三代校舎と海岸寺と石仏群
- 6 長澤の鯉のぼりと花の森公園
- 7 高原大橋からのハヶ岳と川俣川渓谷
- 8 清里高原とポールラッシュ通り
- 9 東沢大橋とまさば公園からの景観
- 10 吐電の滝と川俣川渓谷
- 11 谷戸城址からの田園風景と金生遺跡
- 12 レインボーラインと富士見坂からの大パノラマ
- 13 馬と高原
- 14 三分一湧水と平山郁夫シルクロード美術館
- 15 信玄樺道と石仏
- 16 JR 小海線（ハイブリッド車両）とハヶ岳
- 17 大イトザクラと南アルプス
- 18 清春芸術村、桜と甲斐駒ヶ岳
- 19 旧甲州街道台ヶ原宿
- 20 名水公園べるがと甲斐駒ヶ岳
- 21 名水、尾白川渓谷
- 22 山高神代ザクラと眞原の桜並木
- 23 武川米の郷、田園風景
- 24 精進ヶ滝と石空川渓谷